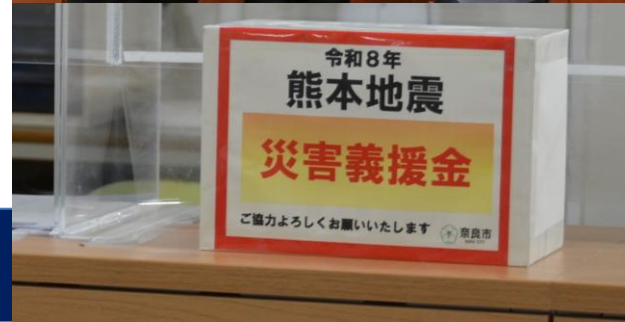




令和8年熊本地震 における 奈良市の支援

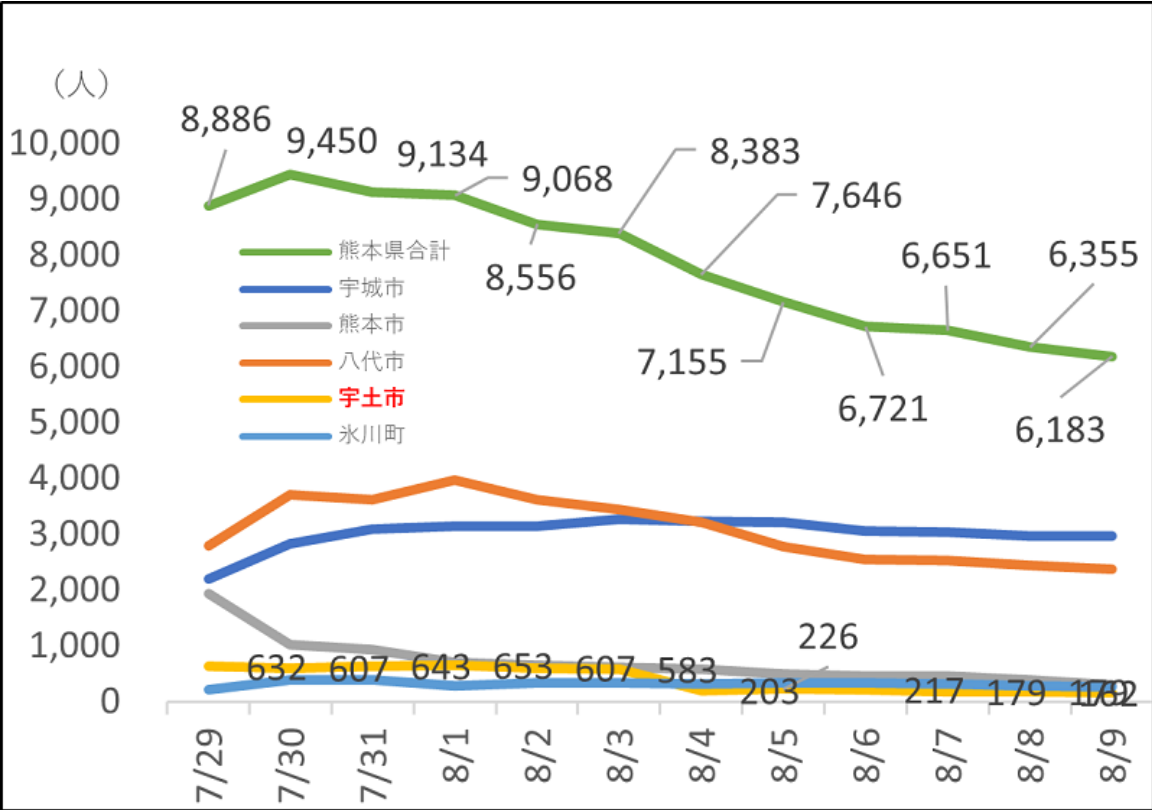
令和8年8月10日
危機管理課



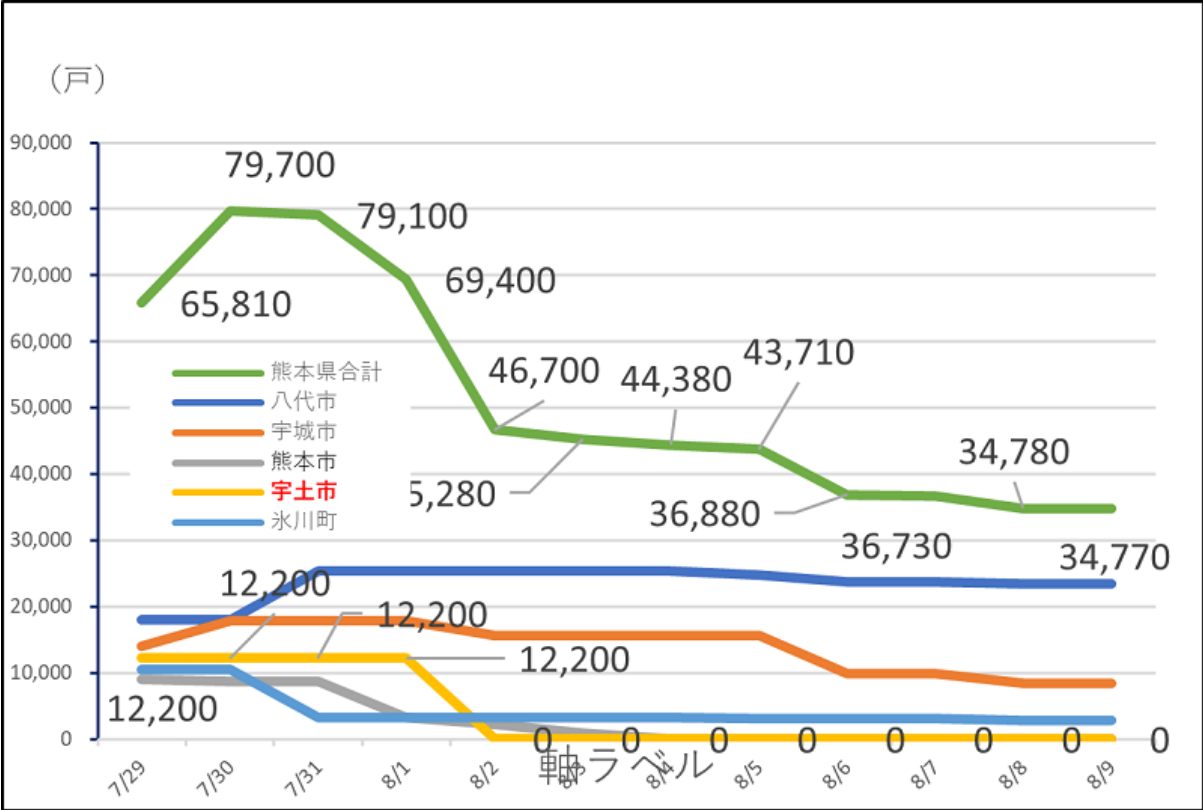
熊本の現状(熊本県8月9日時点)

市町村名	人的被害 (死者)	避難所数	避難者数	断水
八代市	20人	38カ所	2,373人	23,460戸
宇城市	3人	11カ所	2,973人	8,470戸
熊本市	0人	23カ所	310人	0戸
宇土市	0人	8カ所	162人	0戸
氷川町	5人	4カ所	273人	2,840戸
嘉島町	7人	2カ所	20人	0戸
益城町	0人	1カ所	16人	0戸
天草市	0人	0カ所	0人	0戸
甲佐町	1人	4カ所	11人	0戸
美里町	0人	4カ所	26人	0戸
芦北町	0人	3カ所	2人	0戸
水俣市	0人	0カ所	0人	0戸
上記以外	3人	5カ所	17人	0戸
計	39人	103カ所	6,183人	約34,770戸

熊本県の現状(熊本県8月9日時点)

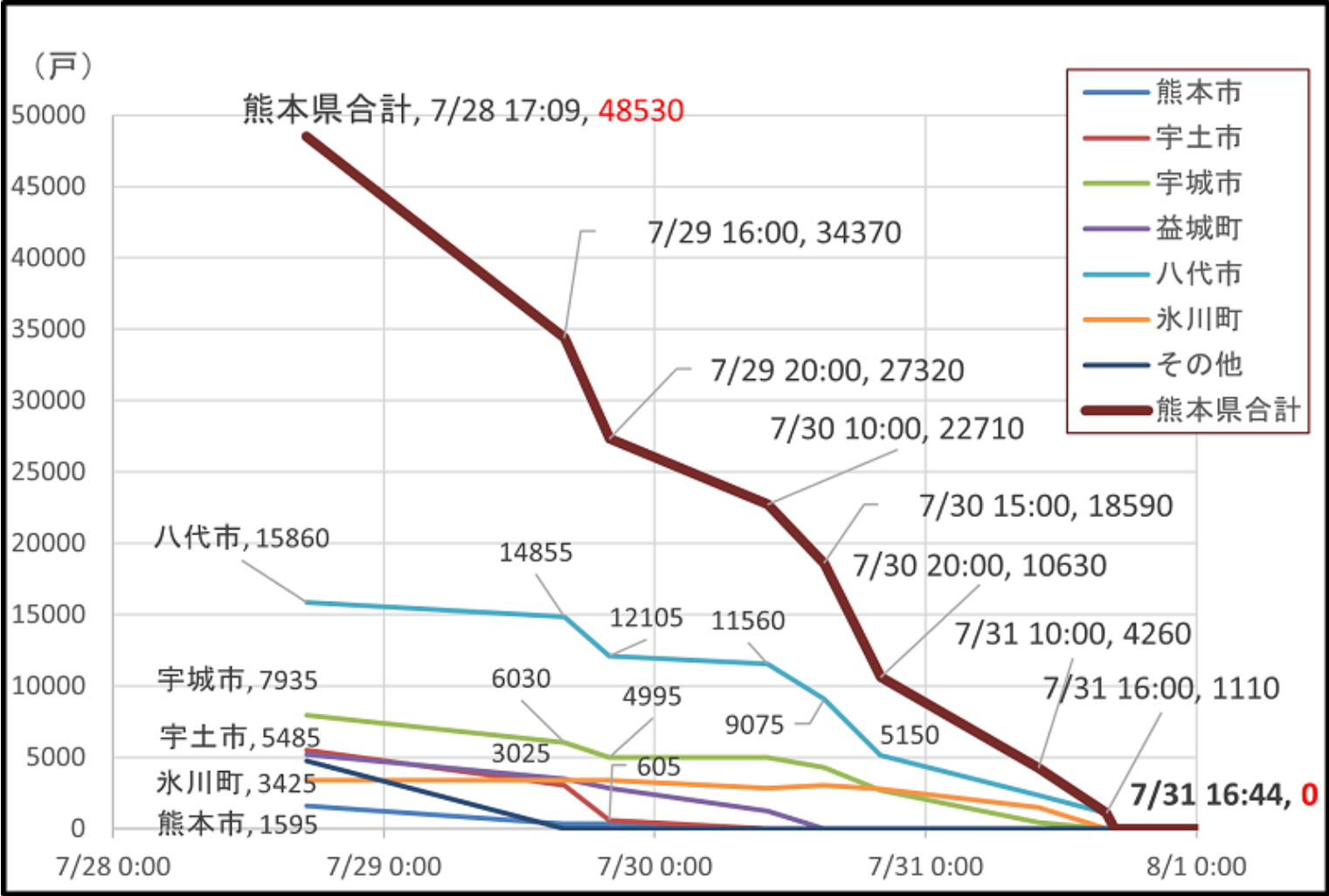


▲熊本県内における避難者数



▲熊本県内における断水戸数

熊本市の現状(熊本市8月1日時点)



▲熊本市内における停電戸数

過去の経験や教訓を生かした支援：宇土市との連携

平成28年熊本地震でのつながりが、今回の迅速な支援要請と対応の基盤に！

平成28年熊本地震の実績



宇土市役所庁舎が壊滅状態となり深刻な水不足が発生。奈良市は延べ78人の職員を派遣(平成28年4月24日～6月30日)し、物的・人的支援を実施。

令和8年熊本地震の対応



過去に派遣経験のある宇土市から直接の支援要請を受理。直ちに支援を決定し、本市のノウハウを現地の復旧へダイレクトに投入。

4つの支援

7月28日の地震発生を受け、翌29日に「奈良市応援本部」を設置。行政主導の「直接支援」と市民参加型の「後方支援」を組み合わせた4本柱で宇土市を支援。



①人的支援

迅速なニーズ把握と避難所運営サポート（先遣隊・本隊の継続派遣）。



②物的支援

民間協定をフル活用した戦略的かつ大規模な緊急物資輸送。市営住宅提供。



③代理寄附

宇土市の事務負担をゼロにする「ふるさと納税」の代理受付。



④義援金募金

奈良市民の連帯を形にする、市内全域での募金箱設置。

①人的支援

7月30日 先遣隊出発



- ▶ 3名体制
- ▶ 支援内容：現場のニーズ把握、受入体制の事前確認

8月2日 本隊出発



- ▶ 1班10名(1週間ごとに10名派遣)
- ▶ 支援名用：罹災証明の受付、避難所運営の支援 等

① 人的支援



被災者の方から「支援に勇気づけられる」との声に、微力ながらお役に立てていることを実感しました。



①人的支援

支援内容	活動先	体制（期間）	派遣者数
宇土市へ応援派遣 連絡調整・罹災証明書発行受付・避難所運営	宇土市役所、 同市指定避難所	先発隊(7/30～8/3)3名 第1班(8/2～8/8)10名 第2班(8/7～8/13)10名 第3班(8/12～8/18)6名(予定)	29名
給水支援 (水道事業者支援協議の枠組みに基づく)	熊本市(8/3)、 氷川町(8/4～)	応急給水第2班(8/3～8/9)2名	2名
宇城市へ応援派(対口支援) 罹災証明書発行業務	宇城市役所豊野支所(予定)	1週間ごと交代 8/14～8/22 2名(予定)	2名
保健活動 (八代市の要請に基づく)	八代市(予定)	8/11～8/16 3名(予定) 8/15～8/20 3名(予定) 8/19～8/24 3名(予定) 8/23～8/27 3名(予定) 8/27～9/1 3名(予定)	15名
保健活動 (保健師等広域応援派遣に基づく)	八代保健所管内(予定)	8/25～8/29 1名(予定)	1名
派遣者数合計			49名

②物的支援

■本市の物資支援

飲料水500ml等約 7 万本、ボディシート、乳児用おむつ、ブルーシート、土のう等。避難生活が長期化する中で、衛生状態の維持や体調管理に直結するほか、今後の気象状況の変化に備える等、「命を守る物資」として、現地からの要望を受けて輸送。

▼ 7月31日飲料水(490ml)15,000本の積込みの様子



②物的支援

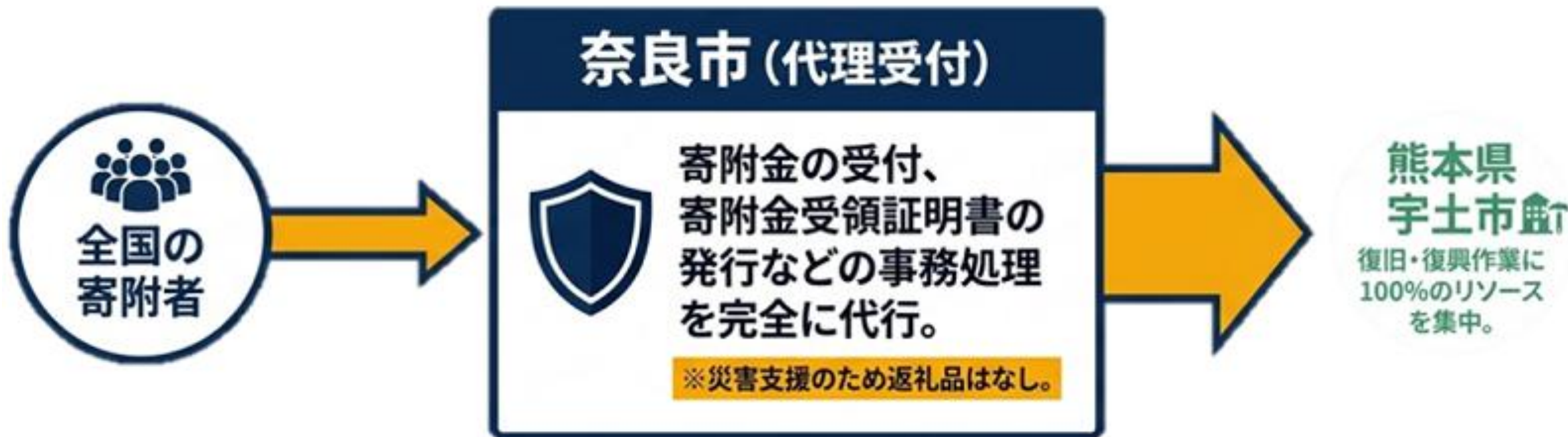
支援物資	支援先	出発日	到着日
飲料水（企業局） 15,000本	宇土市	7月31日	8月1日
飲料水（協定業者） 8,640本			
ボディシート30枚入 2,560パック			
乳児用紙おむつ(L) 6,696枚			
飲料水（協定業者） 23,040本		8月4日	8月5日
ブルーシート 1,000枚			8月6日
土のう 10,000枚		8月5日	8月7日
ボディシート30枚入 2,560パック			
ウェットティッシュ 2,680パック		8月6日	8月7日
飲料水（協定業者） 23,040本			

震度6強の宇土市
では断水が深刻で、
本市の水の支援が
特に喜ばれました。



▲先遣隊リーダー

③代理寄附



受付期間：7月30日正午～

受付サイト：「ふるさとチョイス」「さとふる」特設ページ

③代理寄附

8月10日時点	件数	寄附額
ふるさとチョイス	38件	680,000円
さとふる	128件	2,034,274円
合計	166件	2,714,274円

④義援金募金

▶ 8月7日時点の寄附額

939,094円

※上記寄附額は宇土市以外への寄附も含まれます



地域イベント等で集められた義援金を本市で一括して宇土市に届けています。被災地の事務負担を減らし、迅速な復旧を後押しします。



7月30日開催されたライブにて集まった義援金20万円を翌31日に地元自治体である本市に寄附。

▲ 奈良市観光大使 氷置晋様(中)
バイオリニスト 農澤明大様(左)

期間：7月29日(水)～
9月29日(火)午前中
(各施設の執務時間内)



設置場所：

奈良市役所本庁舎（北棟1階総合案内）

出張所

西部・東部・
北部の3カ所

行政センター

月ヶ瀬・都祁の
2カ所

市民サービス
センター
奈良ファミリー
内

生涯学習
センター、
市立公民館
23館

各図書館
中央・西部・
北部の3館

奈良市
社会福祉
協議会

奈良市の災害時の体制強化に向けて(一部紹介)

防災・減災機能の強化検討項目

▶ 水の確保

防災井戸掘削・給水設備等の整備に対する補助・災害時浄水ろ過装置

▶ 避難所(大規模・福祉等)の空調設備、電源の確保

空調整備・ポータブル発電機の配備・被災者の市営住宅受入れ用電化製品及び家具道具一式・私立保育施設等への災害時電源確保緊急支援

▶ 燃料の確保

非常用発電機の燃料確保・可搬式燃料供給機の整備

奈良市の災害時の体制強化に向けて

○熊本地震に対するそれぞれの調整の枠組みに基づく**人的支援**を行い、現地の復興に寄与する。

○現地における対応状況を**幅広く情報収集**し、本市が被災した場合の**防災力の向上**や**教訓**を得る。

○市民に対して、**避難所等登録**や**防災メール登録**、**備蓄の確認**等、災害に備えるよう呼び掛けていく。





令和8年熊本地震 における 奈良市の支援

令和8年8月10日
危機管理課

